

◇ 令和5年度までに聴取した意見等に対する対応状況 ◇

令和5年度までに寄せられたステークホルダーからのご意見、ご要望等に対する対応状況

佐賀大学では、よりよい大学運営や教育内容・方法の改善等に役立てるために、本学のステークホルダー（学生、卒業（修了）生、新入生、ご家族、教職員、学外の各委員及び関係者、地元企業の皆様、地域の皆様など）からさまざまなご意見・ご要望等をいただきました。それらの対応状況を公開いたします。今後とも、地域とともに発展しつづける大学であるために、いただいたご意見等に対し改善に向けて努力してまいります。

【令和5年度意見聴取（令和6～7年度 意見対応） 令和8年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応（R7.3.31）	対応状況の点検（R8.3.31）
1	佐賀大学広報誌「かちがらす」第48号読者アンケート回答者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第48号読者アンケート（広報誌についてご意見・感想）	<ul style="list-style-type: none"> ○取り上げてほしいテーマ <ul style="list-style-type: none"> ・鍋島キャンパスについて ・サークルの紹介 ・活躍する女性について ○意見・感想 <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントのキャッチーくんグッズが気に入りませす ・広報誌を通して大学のことが良く分かる ・大学を身近に感じることができる ・保護者として佐賀大学を誇りに思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・本学の新たな取組が伝わるように、令和6年度に設立したウェルビーイング創造センターの特集を掲載しました。 ・鍋島キャンパスについてのテーマについては、医学部臨床実習コーディネーターチームの設置について特集しました。 ・読者プレゼントのグッズは、毎号、キャッチーくんをモチーフとしたグッズ（エコバッグ、ステッカー等）を制作し、当選者に送付しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本学の新たな取組が伝わるように、令和8年度に開設予定のコスメティックサイエンス学環の特集を掲載しました。 ・鍋島キャンパスについては、広報誌第52号で、医学部の松本教授の研究について紹介しました。 ・読者プレゼントは、キャッチーくんをモチーフとしたグッズ（エコバッグ、ポーチ等）を制作し、当選者に送付しました。
2	佐賀大学広報誌「かちがらす」第49号読者アンケート回答者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第49号読者アンケート（広報誌についてご意見・感想）	<ul style="list-style-type: none"> ○取り上げてほしいテーマ <ul style="list-style-type: none"> ・学食メニューと学生の食事情 ・就職先と就活事情 ・学部の特徴と授業風景、研究内容 ・大学が誇る独自の機械設備 ○意見・感想 <ul style="list-style-type: none"> ・遠方に住んでいるので、広報誌から子どもの生活が想像できて助かります ・先輩メッセージは親も勉強になります 	<ul style="list-style-type: none"> ・リクエストのあったテーマの一つである「就職先と就活事情」については、「社会で輝く先輩からのメッセージ」として幅広い業種で活躍する卒業生にインタビューを行いました。 ・大学生活がより感じられる誌面になるよう、学生広報スタッフが編集するページ「イキイキ佐大生」では、写真を多く掲載し、活躍する学生団体を同じ学生の目線で伝えられるようなページにしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リクエストのあったテーマの一つである「就職先と就活事情」については、引き続き「社会で輝く先輩からのメッセージ」として幅広い業種で活躍する卒業生にインタビューを行いました。 ・「学部の特徴と授業風景、研究内容」については、毎号、「教育・研究Report」として、様々な学部の教員にスポットを当て、研究内容や授業風景などを紹介しています。広報誌第53号では、令和8年度開設予定のコスメティックサイエンス学環について特集しました。
3	佐賀大学教職員アンケート回答者	教職員アンケート	<ol style="list-style-type: none"> ①広報誌で取り上げて欲しいテーマ <ul style="list-style-type: none"> ・職員とその業務、仕事の裏側 ・新任教員・職員の紹介 ②SNSの効果的な利用について <ul style="list-style-type: none"> ・災害時（休講）の情報発信 ・ショート動画を使った情報発信 ③制作して欲しい広報用グッズ <ul style="list-style-type: none"> ・横断幕やのぼり、テーブルクロスなどのイベント用グッズ ・キャッチーくんのぬいぐるみ ・オリジナル文房具、菓子類（土産用） ④制作して欲しいデジタル素材 <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチーくんの画像素材 ・オリジナル名刺、スライド、背景素材 ・LINEスタンプの続編 ・学内の風景・施設・校舎の写真 ⑤効果的にPRできる企画やアイデア <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルグッズの販売 ・テレビCMやネット広告の利用 ・分かりやすい学内案内表示の制作 	<ol style="list-style-type: none"> ①いただいた内容は、誌面の都合上、まだ採用できていませんが、今後のテーマの参考とさせていただきます。 ②災害時には注意喚起等の発信を行う予定です。ショート動画については、現在、学生広報スタッフと内容を検討しています。 ③キャッチーくんグッズとしてリクエストのあった、横断幕、のぼり、及びテーブルクロスは、グッズとして貸出を開始しました。 ④デジタル素材としては、オリジナルの名刺テンプレートを作成し、ホームページからダウンロードできるようにしました。学内の写真については、随時写真のストックを増やしている途中で、今後、教職員が自由に利用できるように整備予定です。 ⑤分かりやすい学内案内表示については、専用アプリ「キャッチーNAVI」を整備し、令和6年度には鍋島キャンパスも実装しました。 <p>オリジナルグッズとしては、学生広報スタッフがデザインしたキャッチーくんのマグカップを新たに制作・販売しました。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①いただいた内容は、誌面の都合上、まだ採用できていませんが、今後のテーマの参考とさせていただきます。 ②ショート動画については、令和7年12月より情報発信を開始しました。 ③キャッチーくんのぬいぐるみについては、キーホルダータイプを大学生協で販売を開始しました。オリジナルの菓子（土産用）については、令和8年3月から販売を開始する予定です。 ④学内の風景写真については学内限定でウェブサイトに掲載しました。LINEスタンプの続編も検討しています。オリジナル名刺、背景素材、スライドについては、新たに制定した本学のコミュニケーションマーク等を入れたデザインを作成し、教職員限定で公開しました。 ⑤オリジナルグッズとしては、令和8年3月にキャッチーくんのカレンダーの販売を開始する予定です。また、大学入試出願に関してはSNS広告を出しました。

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応 (R7.3.31)	対応状況の点検 (R8.3.31)
4	来てみんしゃい佐賀大学へ企画参加者	来てみんしゃい佐賀大学へ企画	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀の小中高生にとってより身近な企画をお願いしたい。 普段見たり触れたりすることがない資料や機器を体験できるのは嬉しい。 大学と地元自治体や民間企業が連携した企画は大きな意味がある。 大学の分析力、若い人達の自由な発想や考えで地元の問題を解決してほしい。 イベントを通して佐賀の現状を知ることができた。 幼児や小学生向けのイベントがあると嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「来てみんしゃい！佐賀大学へ」企画は、本学に親しみを持っていただくという目的が十分に達成され一定の成果を挙げたものと判断して終了しました。 令和6年度からは文科省が推進する「こども見学デー」に合わせて、対象を小・中学生に設定した企画を募集することとし、以下の2つの企画を実施しました。 1. 佐賀大学学長にインタビューをしよう！（ダイバーシティ推進室） 2. 唐津にある佐賀大学農学部ではどんな研究をしているの？（アグリ創生教育研究センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度も文部科学省が推進する「こども見学デー」に合わせて、「佐賀大学こども見学デー」を開催し、対象を小・中学生に設定した企画（2件）を実施（支援）しました。 1. 佐賀大学夏季学童保育with カッチャー教室「みんなであつくる！『オノマトベ図鑑』」（情報図書館課） 2. コスメを作って研究してみよう！唐津にある佐賀大学を体験！（生物資源教育研究センター）
5①	ホームカミングデー参加者 (佐賀大学卒業生、名誉教授)	第12回ホームカミングデー	大学祭と同時開催での効果があったのか？何とも言いえない。 現役学生も参加できるような企画が必要では。	第13回ホームカミングデーでは、大学発ベンチャー講演会として、在学生による起業した企業活動の取り組みについて講演していただいた。参加者アンケートでは、「学生時代に起業した若者たちの話を聞いて、嬉しく思いました。私も元気をもらいました。」「起業する学生に、基金を集めて支援することが必要と感じた。」などの意見をいただき好評を得ました。	第14回ホームカミングでは、前回（第13回）参加者にとっても好評であった「大学発ベンチャー講演会」を第2弾として開催し、学生時代に起業した起業活動の取り組みについて講演していただき、今回も参加者から非常に好評を得ました。
5②	ホームカミングデー参加者 (佐賀大学卒業生、名誉教授)	第12回ホームカミングデー	校友会にはグラウンドを含むスポーツ施設の整備支援。 スポーツ施設（グラウンド）の整備（車の入場禁止）をお願いしたい。	校友会の事業予算のなかから、スポーツ施設の整備について支援経費を確保するのは難しかったため、学生支援部署にはご意見は伝えました。今年度は施設整備事業により、かねてより改修の要望がありました本庄地区体育館の大規模改修を実施しました。	(対応済み)
6	授業履修者	授業評価アンケート	就職活動に対する支援をもっとしてほしいと感じた。	<p>佐賀大学ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門では、以下の就職支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●〈就職ガイダンス〉 エントリーシートの作成講座や面接対策等、様々なテーマの就職関連セミナーやイベントを実施する。 ●〈個別会社説明会〉 採用広報活動解禁後の3月から7月の間にかけて、翌年の卒業生を対象として個別の会社説明会を学内で開催する。 ●〈就職相談〉 「就活について何から考えればよい？」「自分って何をやりたいんだろう？」「自己分析ってどうやるの？」といった、まだ自分の就活が形になる前の悩みから、「面接練習をしたい」「履歴書の添削してほしい」「求人情報を見たい」などの希望まで、一人一人のステップに応じた相談を対面・オンラインで受け付ける。 民間企業就職希望者だけでなく、教員や公務員を志望する学生も対象としている。 <p>上記の就職支援情報は就職活動のスケジュールに合わせて対象となる学生に向けてメールで配信したほか、キャリア支援部門公式 Teams で相談予約状況のほか、就職活動に役立つ情報を発信した。</p>	(対応済み) キャリア支援部門にてガイダンス・個別説明会・就職相談を実施し、メール配信や Teams で情報提供を行うなど十分な就職支援を実施済み。
7	卒業（修了）予定者	卒業（修了）予定者を対象とした共通アンケート	佐賀大学に給水スポットを設置し、マイボトル利用を増やしたい。	令和5年12月に教養教育1号館1階学生ホールに、令和6年9月には経済学部1号館学生談話室にウォーターサーバーを設置した。現在多くの学生・教職員が利用している。	(対応済み) 教養教育1号館および経済学部1号館にウォーターサーバーを設置し、学生・教職員に広く利用されている。

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応 (R7.3.3 1)	対応状況の点検 (R8.3.3 1)
8	佐賀県庁	TSUNAGIプロジェクト	<p>令和元年より毎年実施している佐賀県・佐賀大学連携調整会議において、本学の取組等の情報共有を行ってきた。</p> <p>本学の取組の成果が認められ、より強力で佐賀県内の地域課題の解決や県内の産業・学術の振興を図るため、令和4年度より佐賀県による研究支援事業「TSUNAGIプロジェクト」が実施された。</p> <p>令和5年度は、継続事業が13件、新規事業が10件の計23件が採択されている。</p>	<p>令和5年度は令和5年7月19日に第7回、令和6年2月13日に第8回の佐賀県・佐賀大学連携調整会議を実施し、支援いただいているプロジェクトの一部について教員より進捗の報告を行い情報共有を行った。</p>	<p>令和7年度も佐賀県において予算化され、本学提案、佐賀県提案分の研究事業を継続するとともに、年2回の連携会議による情報共有を行っている。</p>
9	学部後援会評議員(学生の保護者)	学部後援会評議員会	<p>学生のためのトイレ等環境整備(カルミック)については他の学部の状況を参考にしながら大学に負担してもらいたい</p>	<p>令和6年8月31日開催の後援会評議員会の予算・決算報告の中で後援会による負担について御了解いただきました。</p>	<p>(対応済み)</p>
10	患者様	患者満足度調査	<p>患者様の視点から見た病院運営の在り方について活用できると思われまます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 患者待ち時間対策として、外来呼出しシステムSMSサービス利用促進を行った。 計算窓口の混雑緩和のため、今年度より「指定難病・小児慢性」の更新時期に特設窓口を開設した。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年1月から診療申込書にSMSメッセージサービス希望欄を追加した。その結果、令和6年度新規登録数は1,325件だったが、令和7年度においては1月末現在で新規登録数5,044件であり、待ち時間の負担軽減対策として活用できている。 「指定難病・小児慢性」の更新時期に合わせ、令和7年度も5月～7月にかけて特設窓口を設置し、3番計算窓口の混雑緩和に大きく寄与した。 <p>(いずれも対応済み)</p>
11	患者様及びその関係者様など	ご意見箱	<p>患者様及びその関係者様など外部等の視点から見た病院運営の在り方及び病院サービス向上について活用できると思われまます。</p>	<p>ご意見箱のR5意見対応</p> <p>①駐車場が病院建物から遠い。 →病院建物付近に立体駐車場を増設し、令和5年10月から運用開始した。</p> <p>②院内レストランを再開してほしい。 →令和5年7月から院内レストランをリニューアルオープンさせた。</p> <p>(対応済み)</p>	<p>(対応済み)</p>
12	学生	通信環境の満足度調査	<p>本調査回答期限がアンケート期間中であることから、次回調査時まで整理する。</p>	<p>アンケート調査の結果、キャンパスネットワークシステム更新をしたことにより「概ね改善した」・「改善も悪化もしていない」という意見が大半であるが、中には無線LANの繋がりにくさが更新により「悪化した」・「更新により大いに悪化した」との意見も少数であるが存在した。特に、繋がりにくさの意見が存在するところは、引き続き、現場環境について詳しく調査を行い、アクセスポイントの追加設置を検討するなど、改善のための環境整備予算確保を行い対応する。</p> <p>(※R7.3 医学部付帯施設棟 アクセスポイント追加設置を予定)</p>	<p>アンケート調査の結果を踏まえ、引き続き現場環境について詳しく調査を行い、アクセスポイントの追加設置を検討するなど、改善のための環境整備予算確保を行い対応する。</p> <p>(前回回答以降における対応事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> R7.3 医学部付帯施設棟 無線AP新規設置実施 R7.3 教養教育2号館 無線AP増設実施 R7.3 本庄地区体育館 ネットワークスイッチおよび無線AP新規設置実施 R8.3 教育学部3号館 無線AP増設予定 R8.3 理工学部理系大学院棟 無線AP新規設置予定 R8.3 理工学部6号館 無線AP増設予定

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応 (R7.3.31)	対応状況の点検 (R8.3.31)
13	「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画 身近な遺伝子の世界を体験しよう	来てみんしゃい佐賀大学へ 企画参加者	<p>(高校生による回答)</p> <p>■今後参加したい内容 ①模擬実験、②大学の研究室見学、③施設見学、④簡単なプログラミング実習、⑤芸術実技、⑥トピック・話題に関する講演</p> <p>■意見、感想 ・学校では使わない機械を使うことが出来た ・普段体験できない、難しい装置を使って、長い時間を費やして研究でき、やりがいを感じた ・知識としては知っていた電気泳動やPCR法を、実際に自分の手でやってみることで、その仕組みをより理解することができた</p> <p>■企画を知った要因 ①各学校に掲示されたポスターやチラシ ②先生からの勧め</p>	<p>2024年7月27日に「夏だ！科学だ！研究だ！サイエンスワークショップ」を高校生対象に開催した。10名定員のところ9名の参加があり、実際の研究現場で使われている研究設備（走査電子顕微鏡、細胞自動解析装置）を高校生が操作して、研究の一端を体験していただいた。</p> <p>前年度までは、広報室の「来てみんしゃい！佐賀大学へ」の企画として開催していたが、今年度はこの企画が無かったため、急遽、部局費で開催した。開催方法等、次年度以降の検討事項としたい。</p>	<p>2025年7月26-27日に「夏だ！科学だ！研究だ！サイエンスワークショップ」を高校生対象に開催した。10名定員のところ11名の参加があり、実際の研究現場で使われている研究設備（走査電子顕微鏡、細胞自動解析装置）を高校生が操作して、研究の一端を体験していただいた。</p> <p>今年度は、評価反映費にて開催したが、次年度は外部機関の助成金へ申請を行っている。また、アンケート結果で成分分析の希望が多かったため、次年度は少し内容を入れ替えるの実施を検討している。</p>
14	一般市民、研究者等	オープンラボ	<p>・参加目的の動向 「エネルギーや環境問題に関する学習」が多く、「実物が見学できたことは大変有意義な経験となった」「常に質問できる環境がよかった」「仕組みがよくわかった」などの意見が見られた。</p> <p>・来場のきっかけ 「ポスター」「HP」が多く、「テレビ」からの来場が少なかった。</p>	<p>・アンケートの要望を取り入れ、2024年度開催のオープンラボは前回とは催しの開催場所や待ち時間の短縮などに努め、子どもが楽しめるよう改善し概ね好評であった。</p> <p>・絵はがきコンテストに参加していただいた小・中学生には今年度は新たに参加証を進呈したが大変喜ばれた。</p> <p>・伊万里市役所と協力し、伊万里市内の校長会で絵はがきコンテストの告知案内を行ったことで、学校単位でのコンテストの参加につながった。</p> <p>・伊万里市役所の協力で、伊万里市内の各学校にチラシを配布</p>	<p>・アンケートの要望を取り入れ、2024年度開催のオープンラボは前回とは催しの開催場所や待ち時間の短縮などに努め、子どもが楽しめるよう改善し概ね好評であった。</p> <p>・絵はがきコンテストに参加していただいた小・中学生には今年度は新たに参加証を進呈したが大変喜ばれた。</p> <p>・伊万里市役所と協力し、伊万里市内の校長会で絵はがきコンテストの告知案内を行ったことで、学校単位でのコンテストの参加につながった。</p> <p>・伊万里市役所の協力で、伊万里市内の各学校にチラシを配布</p>
15	一般見学者、企業、自治体、研究者	見学会・視察	<p>・企業との共同研究を拡大する努力を続けてください。開かれた研究所として、広く国民に更にPRをされてください。</p> <p>・口頭の説明だけでなく、実際の実験装置を用いながら説明していただいたので、スムーズに理解することが出来ました。</p> <p>・もっと多くの人にこの研究を知ってもらうため佐賀県内でイベントを開いたり、積極的にいろんなアイデアを出して宣伝していくことで、研究をいっものに作り変えてくれると思います。</p>	<p>・伊万里市および久米島町と連携し、小学生交流授業や施設見学会を開催。見学会の受入環境および態勢については検討中。</p> <p>・県内、県外を問わず中学校やSSH事業を伴う高等学校の研修等の受入を実施。</p>	<p>・伊万里市および久米島町と連携し、小学生交流授業や施設見学会を開催。見学会の受入環境および態勢については検討中。</p> <p>・県内、県外を問わず中学校やSSH事業を伴う高等学校の研修等の受入を実施。</p>
16	学生・教職員	本庄キャンパス駐車場整備事業 (本庄地区構内交通規程の改定)	<p>駐車場がほぼ満車状態のため、入構バスクード交付者の駐車に支障をきたしている。</p>	<p>各月の最も入構台数が多い時間帯を比較したところ、令和5年度に対して、1日当たり平均166台(▲19%)ほど利用台数が減少した。うち一時入構車は平均177台(▲57%)減少した。</p> <p>現在、一時入構車両を抑制した事により正規バスクード利用者が駐車できないという状況は解消されているが、2年目以降も引き続きデータ解析を行って、駐車場不足が生じていないか注視していく必要がある。</p>	<p>前年度同様に令和5年度との駐車台数を比較したところ、1日当たり平均95台(▲15%)ほど利用台数が減少した。うち一時入構車は平均135台(▲63%)減少した。令和6年度よりも駐車台数が増加したものの、100台以上の一時入構車が減少しているため、駐車場不足は解消したと考えられる。</p>
17	教職員	トイレ改修整備計画 (トイレの洋式化)	<p>衛生面や利便性並びに時代のニーズに合わせ、建物内に残っている和式トイレを洋式化してほしい。</p>	<p>令和6年度末時点での整備率は23基・22.8%である。令和7年度以降も段階的に整備していく計画である。</p>	<p>令和7年度末時点での整備率は28基・27.7%である。令和8年度以降も段階的に整備していく計画である。</p>
18	教職員企業	ネーミングライツ事業	<p>従来のネーミングライツよりバリエーションを増やすことで様々な規模の企業・団体様に対して学生の学習・生活環境の向上への面での多様な財源の増加を図れないか。 企業アビールや佐賀大学生のリクルーティングのためにネーミングライツを行いたい。</p>	<p>・令和6年4月からネーミングライツ事業(建物単位:10施設、室単位:166室、外部空間:12施設)のパートナー募集を開始した。</p> <p>・令和6年8月に3社のパートナー企業との契約を皮切りに、令和6年度内に10社(2年契約1社、3年契約3社、4年契約1社、5年契約5社)との事業契約を締結し、令和7年度においては年間約520万円の財源を得ることとなった。</p>	<p>・令和7年度内に1社(3年契約)との事業契約を締結し、令和7年度末において事業契約は12社・14施設の締結となっている。</p>